



精神科 × MTDLP

精神科領域で活用するポイント

毎年、MTDLP基礎研修と事例検討会を行なっています。
しかし、基礎研修を受講後、対象者に対してMTDLPを使用した事例の報告（事例検討会での発表数）が少ないのが現状です。
そこで、実際の臨床で活用できるように研修会を企画しました。
今回の研修では、精神科領域で活用するポイントを、
講義とグループワークを通して学んでいきます。
これからのMTDLP活用のきっかけになればと考えています。
たくさんの方の参加をお待ちしています。

日時：令和4年12月4日（日） 9：00～12：30

開催方法：オンライン（Zoom開催）

講師：南庄一郎氏（大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 作業療法士）

参加費：500円（福井県作業療法士会員）
生涯教育ポイント2P付与

プログラム

- 9：00～ MTDLP活用のポイント 講義
- 10：30～ 事例を通じた活用ポイント グループワーク
- 11：30～ 事例検討（1事例）

申し込み：URLまたはQRコードよりお申し込みください
締め切り：令和4年11月20日（日）

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/d7458f82758423>



お問い合わせ先：福井県作業療法士会MTDLP部 金森
✉fukui.mtdlp@gmail.com

氏名：南 庄一郎（みなみ しょういちろう）先生

所属：大阪府立病院機構 大阪精神医療センター
リハビリテーション室

職名：認定作業療法士



【略歴】

- ・1979年8月、和歌山県 出身
- ・2002年3月、佛教大学 文学部 史学科 卒業
- ・2003年3月、大阪あべの辻調理師専門学校 卒業
- ・2003年3月、京都 南禅寺 瓢亭 入職（日本料理 調理師）
- ・2009年3月、専門学校 愛知医療学院（現、愛知医療学院短期大学）作業療法学科 卒業
- ・2009年4月～2015年3月、国立病院機構 鳥取医療センター 勤務
- ・2015年3月、吉備国際大学大学院（通信制）保健科学研究科 作業療法学専攻 卒業
〈修士：作業療法学〉
- ・2015年4月～2022年3月、国立病院機構 やまと精神医療センター 勤務
- ・2022年4月、大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 勤務、現在に至る

【主な関心領域における実践・資格等】

- ・医療観察法（司法精神科医療）における司法精神科作業療法
- ・児童思春期精神科医療における精神科作業療法
- ・精神障害リハビリテーション
- ・人間作業モデルに基づく作業療法〈人間作業モデル認定セラピスト〉
- ・精神障害領域での生活行為向上マネジメントの活用〈生活行為向上マネジメント指導者〉
- ・OTIPM（作業療法介入プロセスモデル）とESI（社会交流評価）に基づく作業療法
〈CIOTS JAPAN：ESI講師〉
- ・精神障害領域でのタクティールケアの活用〈JSCIタクティールケア I 認定〉
- ・更生保護領域におけるSST（社会生活スキルトレーニング）の普及〈SST普及協会認定講師〉
- * 公認心理師／介護支援専門員／福祉住環境コーディネーター2級

【著書】

- ・『精神科作業療法の理論と技術』（メジカルビュー社、2018年、共著）
- ・『作業療法の話をしようー作業の力に気づくための歴史・理論・実践』（医学書院、2019年、共著）
- ・『事例で学ぶ生活行為向上マネジメントー第2版』（医歯薬出版株式会社、2020年、共著）
- ・『主観的感覚と生きづらさに寄り添うー精神科作業療法士が伝えたい臨床思考ケースブック』（メジカルビュー社、2021年、共著）
- ・『医療観察法と司法精神科作業療法；臨床ハンドブック』（CBR社、2022、編著）
- ・『精神科評価技法ハンドブック』（中外医学社、2022、共著）